雑学書庫 知識の記録

誰の1時間も同じ価値、タイムバンク（Time Banking）

記事のURL

https://www.gklibrarykor.com/ja/article/10986/

PDFレイアウトのプレビュー - 本文の一部のみ

同じ階に住むおばあさんの買い物を1時間手伝い、その1時間を通帳に記録します。数日後、パソコンが壊れると近所の大学生が来て1時間かけて直してくれ、通帳からは1時間が引かれます。お金は1円も動いていませんが、二人とも必要な助けを受けることができました。 このように、お金の代わりに時間をやり取りする仕組みが「タイムバンク（Time Banking）」です。タイムバンクとは、他人を手助けした時間の分だけ時間単位のポイントを貯め、必要なときにそれを使って他の人の助けを受ける、近隣同士のサービス交換制度を意味します。 本記事では、タイムバンクが動く基本的な原理と誕生の歴史、この制度が守ろうとする5つの価値、そして社会福祉の現場での活用と限界まで、順に見ていきます。 時間で助け合う近隣の銀行 1時間は誰にとっても1時間 タイムバンクのルールはとてもシンプルです。1時間人を手助けすれば1時間を受け取り、1時間助けてもらえば1時間を支払います。 (1) 仕事の種類を問わない計算弁護士が法律相談に乗っても、学生が犬の散歩をしても、1時間は同じく1時間と数えます。技術の水準や市場価格に関係なく、すべての人の時間を同じ価値とみなすことが最大の特徴です。 (2) 利息も物価もないポイント貯めた時間はすぐに使わず、長く貯めておくことができます。ただし1時間の価値は常に同じなので、利息は付かず、物価によって上下